

その他の主要施策

○主な取組状況

高度外国人材活用支援

- インターンシップや交流会を活用した外国人留学生獲得支援

H29.6月～10月

⇒参加留学生のうち4名が
市内企業就職

- 韓国人材活用セミナーin北九州
平成29年7月5日開催

⇒参加企業が韓国人エンジニア採用！

- 国際ビジネス人材交流フェアin北九州
平成30年3月14日開催

⇒セミナー・事前マッチングに
約50名の外国人留学生が参加

外国人留学生インターンシップ



韓国人材活用セミナーin北九州



会社合同説明会 「国際ビジネス人材交流フェア」



方向性Ⅴ 地域エネルギー拠点の形成

再生可能エネルギー・基幹エネルギーの創出拠点の形成

○主な取組状況

- ・ 響灘ウインドエネルギーリサーチパークの竣工（平成30年1月1日）
平成25年度に実施した公募により選定した事業者が、風力発電と太陽光発電のハイブリッド型発電所を建設。

- ・ 「響灘洋上風力発電施設の設置・運営事業」に係る基本協定締結（平成30年1月10日）

平成28年度に実施した響灘洋上風力発電施設の設置・運営事業者の公募で選定したひびきウインドエネルギー(株)と本市とで、両者の連携及び協力により、事業を円滑かつ確実に実施するための協定を締結。



響灘ウインドエネルギーリサーチパーク

（備北拓及びジャパン・リニューアブル・エネルギー(株)との合併会社によるハイブリッド型発電所）

Vestas 社製 3.3MW
（洋上設置モデル）



基本協定締結

再生可能エネルギー・基幹エネルギーの創出拠点の形成

○主な取組状況

高効率火力発電

- 【バイオマス・石炭混焼火力発電】
- 響灘エネルギーパーク(11万kW) 建設中
- 響灘火力発電所(11万kW) 建設中
建設工事着工
- 【バイオマス専焼火力発電】
- 優先交渉事業者2社決定(5万、7.5万kW)
- 【LNG火力発電】
- 西部ガス(160万kW) 環境アセス中

風力発電

- H27.3 環境省モデル事業採択
- H29.2 優先交渉事業者決定
(最大44基 22.8万kW)

エネルギーマネジメント

- H27.12 地域エネルギー会社
「(株)北九州パワー」の設立
- H28.4 「(株)北九州パワー」電力供給開始

水素エネルギー

- H28.4～ スマート水素ステーションにて、
再エネからの水素製造実証実施

響灘エネルギーパーク合同会社



西部ガス(株)

(株)響灘火力発電所

環境省「風力発電等に係る地域主導型の
戦略的適地抽出手法の構築モデル事業」

(株)北九州パワーの設立



雇用創出に向けて

若年者の雇用創出

○主な取組状況

若年者の職業観の醸成と地元就職の促進

様々な職業体験を通して
地元企業の魅力を伝えるキャリア教育イベント
「北九州ゆめみらいワーク」を開催！

- 開催日：平成29年8月25（金）～26日（土）
- 会場：西日本総合展示場
- 対象：小・中学生、高校生、大学生、保護者、
教職員等
- 来場者：6,586名（2日間）
- 出展者：139団体（企業、大学、専門学校等）
- 主な内容
 - ・小・中学生向け職業体験コーナーの設置
 - ・企業制服ファッションショー
 - ・「北九州技の達人」による職人技の披露
 - ・出展企業と大学生による座談会
 - ・企業の出展内容を大学生が提案



女性の雇用創出

○主な取組状況

女性が輝く社会へ 女性の活躍推進

W ウーマンワークカフェ北九州 (AIMビル)



国・県・市が一体となり、
女性の“はたらく”を
ワンストップで総合的に支援

⇒開設により新規利用者
約50%増加



働きやすいまち北九州市を目指し、
H29年8月、市内企業等トップによる
「北九州イクボス同盟」設立



U・Iターン応援プロジェクト

平成29年度の就職者：231名
過去最高数値を更新！

○主な取組状況

常設窓口での伴走型支援（北九州・東京）

- ・専任コンサルタントが常駐

U・Iターン夏季集中キャンペーン

- ・転職フェアへの出展やチラシ配布（空港等）

お正月のU・Iターン相談会

U・Iターン応援交流会

- ・U・Iターン希望者、U・Iターン経験者、市内企業の3者が気軽に交流できる場を提供



U・Iターン応援オフィス



U・Iターン応援交流会

平成 29 年度の取組状況（企業訪問等）

企業訪問・来訪状況

企業訪問・来訪件数 16,115 件

（平成 29 年度 企業訪問件数 11,525 件、来訪件数 4,590 件）

<参考> 平成 28 年度 13,554 件

（平成 28 年度 企業訪問件数 9,236 件、来訪件数 4,318 件）

【主な内容】

- ・現在の業績状況把握
- ・今後の事業展開の報告（採用計画、海外展開、事務所移転検討など）
- ・製品の販路拡大に関する相談
- ・新たな事業展開に際しての協力依頼
- ・人手不足の状況などに関する影響把握

出前講演実績

件数 144 回 延べ人数 8,751 人

<参考> 平成 28 年度 199 回 延べ人数 13,141 人

第 10 回北九州市新成長戦略推進懇話会 議事要旨

日時：平成30年1月30日（火） 14時～16時

場所：小倉リーセントホテル 2階

【インバウンドについて】

- ・国によってインバウンドの情報発信が異なる。韓国人の情報源は口コミと個人ブログが多い。
- ・インバウンドのニーズを探る必要がある。増加しているインドネシア人に対する体制が整っていない。礼拝場所・ハラール料理が大きなビジネスに繋がる。
- ・欧米人は八幡製鐵に大変興味がある。高度成長の原点を知るニーズを捉えることで魅力的な観光ルートが作れる。
- ・通訳機能を持ったソフトバンクの **Pepper** を市内企業が開発した。北九州空港や JR 小倉駅、商店街でうまく使える。
- ・北九州空港は国際空港としての風格が欲しい。

【生産性向上について】

- ・ロボット・IoT は全てツールであり、3～5 年経てば当たり前になる。「生産性の向上」とは、「標準化」をつくり出すこと。
- ・ロボット導入は、ロボットに仕事を奪われることや、生産性を向上しなければならぬなど、働く人間に心理的なプレッシャーがかかる。それを上手にクリアしてロボットと人間が共同して働くイメージが必要。

【人材育成について】

- ・女性の稼ぐ力を高める必要がある。産休の支援や、不足している IT・Web 関係の女性技術者の支援体制・人材教育が必要。
- ・グローバル競争に勝ち残っていくためには、IT 人材を育て、将来的に IT 企業に集められるような人材のインフラを作ることが重要。

【風力発電産業について】

- ・響灘の風力発電の電力を使って、良いものづくりをしているというブランディングを広められると面白い。
- ・2025 年頃に EV 車が大量に出回ることが予測される。EV を充電する電力不足が予測されるため、それまでに風力発電の設備が必要。

【観光への取り組みについて】

- ・風力発電を観光資源の一つとして考えて欲しい。
- ・観光では関門連携が一つの柱。クルーズ船の数は関門地域で見ればベスト 10 に入る。関門一体で行うことでかなりの潜在能力がある。

【その他意見】

- ・中小企業が有機的につながる仕組みや、観光と病院との連携など、横連携の仕組みづくりをやってほしい。
- ・人口減少社会の中での成長戦略のキーワードは、1 人当たりの GDP。
- ・ロボットや IT 化の進んだ介護施設を北九州市でつukれないのか。
- ・働き手を減らさないように健康寿命を高めて高齢者が働ける環境を整備することが重要。